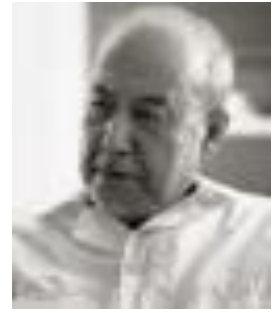


第6回円空大賞円空賞

流政之（ながれまさゆき）



プロフィール

- 1923年：長崎県に生まれる
- 1943年：海軍飛行科予備学生、操縦専修となりゼロ戦パイロットとなる
- 1962年：日本建築学会賞受賞
- 1964年：ニューヨーク世界博日本館の壁画「ストーンクレイジー」（世界博ベストワークに選定）
- 1967年：TIME誌で、日本を代表する文化人の代表の一人として選ばれる
- 1974年：日本芸術大賞受賞
- 1975年：ニューヨークワールド・トレード・センターに「雲の砦」を制作
- 1978年：日本アカデミー賞協会設立メンバーとなり、トロフィーのデザインをする、中原悌二郎賞受賞
- 1983年：吉田五十八賞受賞
- 1994年：長野野外彫刻賞受賞
- 1995年：鳥取県景観大賞受賞
- 2001年：9.11 アメリカ同時多発テロで、ニューヨークワールド・トレード・センターの「雲の砦」も攻撃に巻き込まれる
- 2002年：北海道東大沼に彫刻公園「ストーンクレイジーの森」をつくる
「NAGARE 展」（ギャラリーオー工房・画廊不知火／岐阜県多治見市）
- 2004年：北海道立近代美術館に「雲の砦 Jr.」として甦る、「NANMOSANAGARE 展」（北海道立近代美術館）
- 2006年：コールテン鋼の「バチ」がセントルイス大学にたつ
- 2009年：「流政之展」（高松市美術館）
- 2010年：広島県の呉カントリークラブに「セトサキモリ」をたてる
徳島県の四国霊場 21 番札所太龍寺に「山さきもり」をたてる

選評

流政之氏は巨大な御影石で現代世界を表す彫刻家といえよう。彼の代表作と思われるニューヨークの世界博に出展された「ストーンクレイジー」という作品は、まさに岩肌をむき出しにした巨大な御影石の塔ときれいに研磨された穴の空いた石などを対比させる。ゴツゴツした巨石は、日本では縄文時代から神の宿るものと信じられてきた。その傍らに立つ研磨された石は現代の文明をシンボライズするものであろうが、彼の彫刻の根幹には現代という時代に生きる日本の伝統が息づいているように思われる。



MATAKI TENO (2006年制作)
サンポート高松・香川



ヨカアシタ (1995年制作)
白木峰高原・長崎諫早市



雲の砦 (1975年制作)
ワールド・トレード・センター・ニューヨーク



山さきもり (2010年制作)
四国 21 番札所太龍寺・徳島



もどり雲 (2006年制作)
彫刻公園ストーンクレイジーの森・北海道大沼